

令和5年度
学校関係者評価 報告書

令和5年6月22日

学校関係者評価委員会

ホンダ テクニカル カレッジ 関東

1. はじめに

学校関係者評価とは、学校の自己評価の客観性・透明性を高め、学校と密接に関係する者の理解促進、連携協力による学校運営の改善を図ることを目的としています。具体的には、学校が策定した重点目標、計画の実施について自己評価を行い、その結果を踏まえ、今後の取組方針などについて、学校が選定した学校関係者評価委員に説明し、教育活動、学校運営等に係る課題を共有し、今後の方向性等に対する助言、評価等を頂くことで学校改善につなげることを目指しています。

学校法人ホンダ学園 ホンダ テクニカル カレッジ 関東（以下、ホンダ学園 関東校）においては、平成 26 年 10 月に学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会を発足させ、令和 5 年度は、学校関係者評価委員会を 2 回開催、教育編成委員会を 2 回開催する中で、委員の皆様から幅広い意見、助言、評価を頂きました。その結果を本報告書にまとめ、今後の教育内容や学校運営等の改善を図ってまいります。

2. 令和 5 年度 学校関係者評価委員会 開催概要

- ・日時：令和 5 年 5 月 18 日（第 1 回委員会） 令和 5 年 6 月 22 日（第 2 回委員会）
- ・場所：ホンダ学園 関東校 第 1・第 2 会議室

- ・評価委員 関谷 雅裕(委員長) 株式会社ホンダカーズ埼玉 総務部 部長 管理部 部長
森山 吉樹 株式会社オートテックジャパン 管理本部 人事部 部長
金子 明 ふじみ野市役所 総合政策部 部長
木村 一年 本田技研工業株式会社人事統括部 労政部
関係会社人事労政課 主幹
鈴木 伸夫 ホンダ学園 関東校 後援会 会長

- ・学校出席者 勝田 啓輔 ホンダ学園 関東校 校長（教頭兼務）
山本 桂太郎 学務室 室長
達富 由樹 教務部 部長
茂野 泰士 サービスエンジニア 1 課 課長
中野 健二 サービスエンジニア 2 課 課長
奥 浩一 開発エンジニア課 課長
嶋 健司 教務部 運営管理グループ
山田 和宏 学務室 管理グループリーダー

【学校関係者評価委員会 会議次第】

<第 1 回委員会>

- ・委員長挨拶
- ・校長挨拶
- ・関東校の教育現場確認
- ・令和 4 年度 学校方針に基づく運営実績報告
- ・令和 4 年度 自己点検・自己評価報告書の説明
- ・質疑応答
- ・今後の展開について

<第 2 回委員会>

- ・委員長挨拶
- ・校長挨拶
- ・第 1 回委員会議事録の確認、共有
- ・各委員からの質問/提言/評価への回答
- ・教育課程編成委員会 結果の報告
- ・委員会評価まとめ
- ・今後のスケジュール

3. 令和5年度 教育課程編成委員会 開催概要

- ・日時：令和5年5月24日（第1回委員会） 令和5年6月12日（第2回委員会）
- ・場所：ホンダ学園 関東校 第1・第2会議室

・評価委員	中妻 茂	一般社団法人 埼玉県自動車整備振興会 事業教育部 部長
	富田 英則	株式会社ホンダカーズ久喜 代表取締役会長
	中村 純一	株式会社ホンダプロモーション(ホンダカーズ川越)統括部長
	田中 和弘	八千代工業株式会社 執行役員 管理本部副部長 総務部 部長
	勝田 啓輔（委員長）	ホンダ学園 関東校 校長（教頭兼務）
・学校出席者	達富 由樹	教務部 部長
	山本 桂太郎	学務室 室長
	茂野 泰士	サービスエンジニア1課 課長
	中野 健二	サービスエンジニア2課 課長
	奥 浩一	開発エンジニア課 課長
	嶋 健司	教務部 運営管理グループ

【教育課程編成委員会 会議次第】

<第1回委員会>

- ・教務部組織変更の報告
- ・新委員紹介
- ・委員長挨拶
- ・令和4年度 委員会指摘/提言に対する推進結果
- ・令和4年度 教務部実績の報告
- ・令和5年度 新学科発足の報告
- ・質疑応答
- ・今後の予定

<第2回委員会>

- ・委員長挨拶
- ・令和5年度 第1回委員会の指摘/提言の回答
- ・令和5年度 教務活動計画
- ・質疑応答
- ・今後の予定
- ・関東校の教育現場確認

4. 令和5年度 学校関係者評価委員会の評価まとめ

最初に学校側より、学園概要、教育内容、令和4年度の重点課題、重点目標を説明し、本委員会における課題共有を図りました。その後、令和4年度の自己点検・自己評価報告書による評価結果の説明を行い、質疑応答を通して意見交換を行い、更に詳細に課題認識を深めました。

第2回委員会に向けて各委員の皆様から さらに質問、提言、評価をいただいた上で、学校側より回答説明を行い、質疑応答及び意見交換を図り、学校関係者評価委員会として最終評価をまとめました。

令和4年度 自己点検・自己評価報告書 各基準の評価結果を以下に報告します。

基準 1：教育理念・目的・育成人材像等

「建学の志」は揺るぎなく、すべての学校関係者に受け継がれています。志の高い教員の下、Honda の環境で育つ学生も誇りを持ち生き活きとしています。今後も学生一人ひとりが各々の目標に向かって邁進できるようお願いします。「世界に歓迎される人間の育成」や「チャレンジ精神」などは、ホンダらしさに溢れた素晴らしい教育理念です。教職員はもとより、カレッジガイドやシラバス等によって外部にも広く周知されているものと確認いたしました。今後においても本教育理念を貫き、世界に歓迎され、また、社会に歓迎される人材育成をお願いします。

基準 2：学校運営

中期方針と中期重点課題を設定し、実行レベルの具体的な施策・目標に落とし込んで活動しており、目標達成に向けて着実に活動しています。目標は定量的・定性的に設定され、結果の振り返りから PDCA を回すことで改善を図ることができています。また、将来を見据え、財務システムの汎用化や学事システムの改善・更新による業務の効率化を進めています。

引き続き Honda と連携した経験豊富な人材の登用や、資格レベルに応じた教職員の能力開発など、高い教育水準の維持に向けた取り組みの推進をお願いします。

少子化に伴う学生数の減少、自動車業界への関心の低下に対し、学生やその保護者に職場環境や魅力を PR し「意欲ある学生」の入学に繋げ、選ばれる学園の確立を目指してください。

基準 3：教育活動

ホンダセンシング授業など新機構、新技術などに対応したカリキュラムの見直しなどをはじめ、教育課程編成委員会におけるニーズも反映しながらカリキュラムが設定されています。また、技術のみに留まらず接客事務や安全運転などキャリア教育にも力を入れています。

入学予定者への事前教育・弱点領域の補強や、登録試験合格率向上に向けた強化、Honda 専用カリキュラム（環境・安全）の充実は、新入学生の就学意欲を醸成や、メーカー校としての優位性を担保する為に必要な取り組みと認識します。

コロナウイルス感染防止の徹底を進めながら、Honda の強みである体感学習が出来るようになり、学生たちが生き活きとしていることが窺えました。

基準 4：教育成果

教育の成果として就職率 100%、1 級整備士 90.6%、2 級整備士 100%の高い合格率を達成しています。一級整備士資格取得が目標未達となっていますが、状況を分析し、課題点を明確にすることで効果的な施策を展開し改善傾向となっています。目標達成に向けて引き続きの対応をお願いします。就職状況は良好で、学園の育成方針に沿った、優秀で魅力的な人材育成が企業 CS でも評価されています。

退学者増加への対応として、入学前教育だけでなく、入学後の学習内容をより基礎的な項目からスタートすることで、自信を付けさせるなど、学年、学科に応じた対策に取り組んでいます。

基準 5：学生支援

就職活動においては、就職キックオフに始まり企業研究会や企業セミナーを開催するなど、学生が活動しやすい環境を作る支援体制が整っています。また、クラブ活動や寮の充実など、様々な面での学生支援が考えられています。さらに、外部カウンセラーによるメンタルヘルスクアなど、健康管理への支援を徹底しています。

新型コロナ感染防止策を徹底し、学生ファーストで考え感染拡大防止に努めながら、コロナに罹患した学生への補講を確実に行っていきます。新型コロナ感染による国家整備士資格登録試験の受験影響はありませんでした。

奨学金は、制度の見直しにより新規に企業奨学金制度を導入しています。学生への経済的な支援を継続してください。

基準 6：教育環境

最新の設備等を活用した実践的な教育が行われています。特に車両教材の入替においては、最新の HEV、BEV 車を導入するなど、メーカー校の強みが活かされています。また、施設、設備の更新も計画的に実施され、付帯施設（図書館、食堂、クラブハウス、体育館、寮等）も充実しており、申し分ありません。技術の進化や社会システムの変化に応じた教育カリキュラムなどの変更や追加もタイムリーに取り入れています。

基準 7：学生募集と受け入れ

本年度の入学者数の実績は募集計画と比較して大幅未達となったことを踏まえ、昨年度の取り組みを検証し、様々な角度から施策を検討し、オープンキャンパスを中心に多彩な活動が実行されています。逆風の情勢ではありますが、分析と施策展開の継続をお願いします。連携や協力依頼など、企業とのコミュニケーションをとる機会を増やしていく必要があると考えます。必要な支援及び協力体制は惜しまないので、具体的な協力体制を構築してください。

基準 8：財務

予算計画と執行状況について評議会や外部監査人により確認され、財務諸表と事業計画がホームページで公表されており、透明性の高い仕組みとなっていることが確認できました。新入学生の減少により、学校の財務状況は厳しい状況が続きます。収支均衡を是とする効率的な学校運営と体質強化の取り組みに期待します。

基準 9：法令等の遵守

コンプライアンスを重要視していて、問題がないことを確認しました。近年では、個人情報保護の徹底が求められています。問題を起こすとその信頼回復には多くの時間とコストが必要となります。引き続き、教育現場として個人情報保護の対策を講じ学校運営を進めてください。

整備士に関わる法令教育が実施されています。安全には法令も多く、特に最近では化学物質の取り扱い法令にも多くの変化点があります。学園で基礎となるルールを作り安全教育を実施して、「安全な作業が出来る人づくり」の教育をお願いします。

基準 10：社会貢献

近隣地域を中心とした社会貢献活動を継続しています。学園周辺の清掃など、地域活動を積極的に実施しており、教職員や学生の社会貢献度は非常に高いと認識しています。今後も引き続き、近隣の小学校の社会見学や中学校の職場体験の受け入れ等を実施するなど、地域に存在を期待される学校であることを期待します。

5. 令和5年度 学校関係者評価委員会の総括

令和5年度の学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会において、様々な意見や提言をもとに評価しました。その評価結果の要点を以下に明記します。

- 「建学の志」は揺るぎなく、すべての学校関係者に受け継がれています。今後においても本教育理念を貫き、世界に歓迎され、また、社会に歓迎される人材育成をお願いします。
- 中期方針と中期重点課題を設定し、目標達成に向けて着実に活動しています。結果の振り返りからPDCAを回すことで改善を図ることができています。自動車業界への関心の低下に対し、学生やその保護者に職場環境や魅力をPRし、選ばれる学園の確立を目指してください。
- 新機構、新技術などに対応したカリキュラムの見直しなどをはじめ、教育課程編成委員会におけるニーズも反映しながらカリキュラムが設定されています。
- 教育の成果として就職率100%、1級整備士90.6%、2級整備士100%の高い合格率を達成しています。一級整備士資格取得が目標未達ですが、課題を明確にし、達成に向けて対応をお願いします。
- 退学者増加への対応として、入学前教育だけでなく、入学後の学習内容をより基礎的な項目からスタートすることで、自信を付けさせるなど、学年、学科に応じた対策に取り組んでいます。
- 昨年より新規に企業奨学金制度を導入しています。学生の経済的支援を継続してください。
- 最新の設備を活用した実践的な教育が行われています。車両教材は、最新のHEV、BEV車を導入し、メーカー校の強みが活かされています。また、施設、設備の更新も計画的に実施され、充実しています。
- 入学者数が計画に対し大幅未達となったことを踏まえ、様々な角度から施策を検討し、オープンキャンパスを中心に多彩な活動が実行されています。分析と施策展開の継続をお願いします。
- 財務諸表と事業計画がホームページで公表されており、透明性の高い仕組みとなっています。収支均衡を是とする効率的な学校運営と体質強化の取り組みに期待します。
- コンプライアンスについては問題がないことを確認しました。引き続き個人情報保護の対策を講じ学校運営を進めてください。
- 学園周辺の清掃など地域活動を積極的に実施し、また小学校の社会見学や中学校の職場体験を受け入れる等、社会貢献度は高いと認識しています。地域から「存在を期待される学校」であることを期待します。

学生の学びを最優先に、様々な学生支援を充実させながら、未来へ向けた新技術教育も取り入れて、より一層の質の高い教育を施すことで、「世界に歓迎される人間の育成」に努めてください。

以上